

『環境と創造』愛知万博特集



写真は中部の環境を考える会『環境と創造』No.24、2005 年。その年に開催された愛知万博を特集している。

本号では、シンポジウム「いまの環境アセスメントで環境は守れるのか—愛知万博環境アセスメントを例として」の記録が特集されている。会員研究として私の「愛知万博の検証—万博収支は黒字なのか」、「万博をふりかえって」、四日市の澤井余志郎さんらの会員レポートなどが収録されている。

「万博をふりかえって」のなかで、本会代表世話人の宇佐見大司さんの「万博アセスへの思い」後半部分を紹介したい。宇佐見さんは民法研究者で、愛知万博の環境アセスメントに意見する市民の会の代表であり、私も一緒に活動した。

—このアセスについては、私はすでに「失敗例」というべきだという発言をしてきている。愛知万博のアセスは、途中で、会場が海上の森から長久手の青少年公園に変更された(2000 年)ことで、それ以前の手続と、それ以後の手続とが整合しなくなった。本当はこのとき、アセス手続きをはじめからやり直すべきだった。しかし 2005 年 3 月の開幕に固執する事業者は、無理にこの前後の手続を接合した。そして、2002 年 6 月に、一応「評価書」ができると、あとは一気呵成に突き進んだ。「追跡調査」と称して行われた「評価書」の不十分な点の補充も、褒められたものではなかった。

しかし一方、この会場変更自体が、ある意味でアセスの成果といえないこともない。海上の森での 2500 万人の万博は無理だ、ということが明らかになったのも、アセスの結果という側面を有すると思う。会場変更の背景がなんであったか、実はいまだにはっきりしていない。万博の所轄官庁である経済産業省は、早くから、2500 万人という規模で、海上の森一本槍で突き進むのは無理だということを認識していたフシもある。2000 年 1 月に表面化した BIE の批判のリークも、そういう背景があるのかもしれない。アセスにかかわって一生懸命発言してきた市民の一人として、これらの経緯をぜひ明らかにしたいと願っている。

2025 年万博は日本・大阪に決まった。二度目の大阪万博は、人工島「夢洲」を会場予定地としている。大阪府市は万博会場の隣で、IR という名のカジノを万博 1 年前に開業させようとしている。

大阪「カジノ万博」は、これから基本計画などを策定して、BIE に登録申請しなくてはならない。基本計画の柱となるのが会場計画であり、そのための環境影響評価(アセスメント)が実施されることになる。万博アセスメントを進めるうえでも大切なのが、愛知万博の経験、その教訓から学ぶことである。本号掲載の「2005 年愛知万博の環境アセスメントの経過」を抜粋して次ページで紹介しておきたい。

(2019 年 1 月 17 日)

2005年愛知万博の環境アセスメント

1997. 6. 13 BIE（博覧会国際事務局）総会で開催決定
10. 8 環境影響評価手法検討委員会発足
10. 23 2005年日本国際博覧会協会（万博協会）設立
12. 21 愛知万博の環境アセスメントに意見する市民の会設立
1998. 3. 27 通産省通達「環境影響評価要領について」
4. 17 万博協会、環境アセスメントの実施計画書公表・縦覧
1999. 2. 24 環境影響評価準備書
愛知県は新住宅市街地整備事業と名古屋瀬戸道路準備書
4. 30 日本野鳥の会、計画区域内でオオタカの営巣を発見と公表
6. 12 環境影響評価法施行、愛知県環境影響評価条例施行
6. 28 愛知県知事、万博会場を愛知青少年公園にも設けると表明
8. 31 愛知県、新住計画についての環境影響評価書を建設大臣に送付
9. 9 博覧会協会、青少年公園を組み込んだ新会場計画案を公表
11. 22 新住・道路のボーリング開始
2000. 1. 13 通産省評価検討会 万博評価書への意見をまとめて公表
1. 14 新住計画についてBIEの懸念表面化（中日新聞）
4. 4 通産大臣、愛知県知事、博覧会協会会長の3者合意、新住断念
4. 28 野鳥の会など6者合意、検討会議の設置決める
5. 28 第1回愛知万博検討会議（12月21日まで15回開催）
7. 24 第8回検討会議で海上の森の使い方について合意
9. 19 会場計画を閣議決定、BIEに登録申請（12月の総会で承認）
10. 25 青少年公園地区についての「検討状況報告書」公表
12. 3 協会が基本計画公表、会場は青少年公園中心、
テーマを「自然の叡智」に一本化
2002. 1 愛知万博の愛称を「愛・地球博」に
3. 12 博覧会協会、基本計画に基づく修正評価書（案）公表
6. 25 修正評価書を公告
10. 27 愛知万博起工式
2003. 1. 17 追加調査その1（2005年5月17日のその5まで）
2005. 3. 25 「愛・地球博」開幕
9. 25 「愛・地球博」閉幕

* 中部の環境を考える会『環境と創造』NO. 24, 2005年より抜粋